



重要

Windows XP, Office2003 サポート終了

Windows XP, Office2003は、2014年4月9日(日本時間)をもってメーカーサポートが終了しました。サポートの終了した製品はセキュリティの確保が非常に難しくなります。対象製品をご利用中の方は、速やかにメーカーサポートが受けられる製品へのアップグレードやパソコンの買い替え等ご対応願います。

Windows XP と Office 2003 のサポートを終了させていただきました(Microsoft社)
http://www.microsoft.com/ja-jp/windows/lifecycle/xp_eos.aspx

研究室等で学生を指導する教員の方々へ

学生や留学生等の私物PCについても該当製品の有無をご確認願います。脆弱性のあるPCで研究情報を扱ったり、富山大学のユーザIDやパスワードを利用した場合、情報の漏洩や不正アクセス等の危険性があります。

2014年5月現在で メーカーサポートが受けられる製品

- Microsoft社:
OS: Windows Vista SP2, 7, 8, 8.1
サーバOS: Windows Server 2008, 2012
Office: Microsoft 2007, 2008, 2010, 2011, 2013
- Apple社※:
Mac OS: 10.7, 10.8, 10.9

※ メーカーからサポート終了の公式な発表はありませんが、Apple社から提供されているOSは、最新バージョンから2つ前までがサポート対象とされています。それより古いバージョンは、セキュリティ更新プログラムの提供が遅延したり、提供されない場合があります。



Windows XP のサポートが 終了したらどうなるの？



セキュリティ修正プログラムが提供されません！

Windows XPにセキュリティ上の重大な問題(脆弱性)が見つかって、修正プログラムが提供されなくなります。脆弱性がある状態のWindows XPがコンピュータウイルス感染や不正アクセス被害等に遭う危険性は、最新OS(Windows 8)と比べて、10倍以上になると試算されています。

標的型攻撃が増加する可能性があります！

Windows XPには、既にいくつかの脆弱性が発見されており、この脆弱性を狙った攻撃(標的型攻撃)が、広範囲に開始される可能性があります。セキュリティ修正プログラムが提供されなくなったWindows XPでこの攻撃を防ぐことは技術的に不可能です。

ソフトウェアメーカーのサポートも終了します！

Windows XPは、ウイルス対策ソフトウェア等のソフトウェアメーカーからも順次サポートを打ち切られますので、セキュリティの確保が非常に難しくなります。



よくあるお問い合わせ



ウイルス対策ソフトを導入していれば安全ですよね？

セキュリティ脅威の高度化に伴い、防衛策も複雑化しています。ウイルス対策ソフトだけでは安全を確保できません。

まだ使えるので、別によいのでは？

センターでは、メーカーサポートの終了したOSについては、一切対応/サポートいたしません。全て自己責任でお願いいたします。



重要

長期休暇に係るセキュリティ対策について

セキュリティ対策を怠ったネットワーク機器を狙った攻撃が世界各国で報告されています。以下に、セキュリティ対策方法を簡潔にまとめましたので、必ず実施願います。

なお、不審な点を発見された場合は、最寄の総合情報基盤センターへご相談ください。

Check!

パソコン編

- OSに修正プログラムを適用する
 - Windows → Windows Update
 - Mac → ソフトウェア・アップデート
- 導入しているアプリケーションに修正プログラムを適用する
 - Adobe製品全般 (特にReader/Acrobat)
 - Java
 - Flrsh
 - JustSystem製品全般 (特に一太郎)
- ウイルス対策ソフトの定義ファイルを最新の状態に更新し、完全スキャンを行う

Check!

サーバ編

- 各種修正プログラムを適用する
 - 稼働サービス等の脆弱性情報に関する情報収集に努め、適切に対応する
- サーバーの設定/管理体制の確認を行う
 - ユーザ/パスワードの適正な設定/管理
 - 稼働サービス/スクリプト等の適切な設定/管理
 - アクセス制限等の適切な設定/管理
 - 接続/ログイン/操作等履歴の確認
- 適切な連絡体制の整備を行う
 - 不測の事態に備え、管理業務を委託している業者および部署内の連絡体制を確認する

Check!

ネットワーク機器編

- ネットワーク機器(複合機やルータ等)に適切なセキュリティ対策を行う
 - 最新のファームウェアを適応する
 - 管理画面へ適切なパスワード設定する
 - セキュリティ機能を活用し、適切な設定/管理を行う
 - アクセス制限機能
 - MACアドレス制限機能
 - 通信/利用記録等のログ(履歴)に不審な点がないか確認する

(参考)

長期休暇を控えて 2013/04 (JPCERT)
<https://www.jpCERT.or.jp/pr/2013/pr130001.html>

CAUTION

ソフトウェアの利用規約を遵守してください ～無料版ウイルス対策ソフトには制限があります～

フリーソフトの中には、利用可能場所等に制限がある場合があります。特に無料版ウイルス対策ソフトの多くは、利用可能場所が「ホームユース(家庭内利用)」に限られています。また、利用規約に「政府機関または教育機関が所有するデバイス上では使用できません。」と明記されているソフトウェアもあります。

フリーソフトであっても利用規約違反は、損害賠償等の対象となります。ソフトウェアの導入時には、必ず利用規約を熟読し、遵守してください。

Microsoft Security Essentials の利用規約 (一部抜粋)

1. インストールおよび使用に関する権利。
自宅使用。お客様がホーム・ユーザーの場合、お客様は、お客様の世帯における居住者による使用を目的として、本ソフトウェアの任意の数の複製を、お客様の個人用デバイスにインストールして使用することができます。

(中略)

制限。本ソフトウェアは、政府機関または教育機関が所有するデバイス上では使用できません。



個人PCで利用していても、そのPCを大学(研究目的)で使用した場合は、規約違反になります。



フィッシングメールにご注意ください!

本学宛に正規サービスを詐称してIDやパスワードを抜き取るウェブサイトに誘導する迷惑メール(フィッシングメール)が送付されております。最近のフィッシングメールは、正規サービスからのメールと見分けがつかないほど巧妙化しておりますので、十二分にご留意願います。

怪しいメールを受信した場合は、最寄の総合情報基盤センターまでご連絡願います。

センター貸出しウイルス対策ソフト バージョン確認のお願い

センターで貸出しているウイルス対策ソフトの最新バージョンは次のとおりです。

Win	Mac	Symantec Endpoint Protection	12.1.4
Win		ESET Endpoint Protection	5.0
	Mac	ESET NOD32	4.1

古いバージョンのウイルス対策ソフトは、メーカーサポート対象外(定義ファイルがアップデートされない等)となる場合があります。

最新バージョンのウイルス対策ソフトは、セキュリティが強化されていたり、不具合が改善されている等メリットも多々あります。定期的に新しいバージョンへ移行されることをおすすめいたします。

(参考)

ITC HOME > サービス > ソフトウェア・ライセンスの貸与サービス(職員向け)
<http://www.itc.u-toyama.ac.jp/service/license.html>



総合情報基盤センター

<http://www.itc.u-toyama.ac.jp/>



バックナンバー : <http://www.itc.u-toyama.ac.jp/cn/>